評語の書き方

☆ **各作品には、必ず評語をつけてください。**

☆ 作業の際、分かりやすいように、必ず題名を書いて、学年とその児童の名前を書いてください。
作品のあとにつけて、ホッチキスで**右側**をとじてください。

○ 評語は、用紙の最後の行まで（八〇字以上）書いてください。
○ 評語の相手は、作文を書いた児童本人とします。
○ 児童の学年に応じた漢字を使ってください。
○ 長文より短文に心がけ、ポイントを押さえて簡潔に記述してください。

〈参考視点〉※必ず記載していただく必要はありません。
・表現技能と内容をつないで記述する。
例　会話文で書かれているために、二人の気持ちが生き生きと表れています。
・改善点を指摘することによって、表現力の向上を意図して記述する。
例　内容のまとまりごとに、段落を分けると実験の様子が分かりやすくなります。

題名『　　』

ふりがな〔　　〕

（　　）年　氏名〔　　〕